

汗かくメディア2013

受賞作品公開展示



おスイッチ! はんだコテコテ

スイッチを押したら何がおこるかためてみよう! タッチパネルなどが普及する中、あえて機械的なスイッチが持つ感覚や音などの心地よさに着目しました。様々な動きをするスイッチに触れ、触覚・視覚・聴覚で楽しむ空間を提案します。スイッチを押すことで体を動かしたり考えたりして、感覚や操作の反応を楽しむことのできる作品です。

はんだコテコテ:
ガジェット好きな学生3人で結成された、メディアクリエイションユニット。作品をとおしてマンマシンインターフェイスのあり方を模索する。
メンバー: 市野昌宏、金原佑樹、二宮隼



光のコンパス: まるの王様、だーれだ!

《光のコンパス:まるの王様、だーれだ!》は、体を使って光のまるを描くあそびです。大きなコンパスになって上手くまるを描くことができると、光のまるが飛び出します。遊んだ体験をとおして、いつもの風景のなかにも図形や面白いものを発見する力が養われるきっかけとなればと願っています。

光のコンパス:
まるの王様、だーれだ!
椎橋怜奈+関りん+MoonWalkers



ジロジロ・キョロキョロ 藤堂高行

コンセプトは「生きもののような作品と戯れる」ことです。大きなふたつの目玉はまばたきしたり、瞳孔が開いたり縮んだり、本当の目のような動きをします。この大きな目玉がこちらに視線を向けることで、巨人がこちらをじっと見つめているような、あるいは自分が小人になって人に見られているような感覚になります。ぜひ、この大きな目玉と戯れて遊んでください。

ジロジロ・キョロキョロ
藤堂高行
1985年生まれ、神戸市出身。情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) 在学中。最近「視線」をテーマにした作品などを展開している。

関連プログラムのお知らせ ※9月22日は関連プログラムのため、「汗かくメディア受賞作品公開展示」一般公開は13時からとなります。

ACC(あいち子どもクリエイティブクラブ) 第5回 | 汗かくメディアツアーと ACCのおもしろいを発見する

日時: 2013.9.22(日) 11:00~15:30
対象: 小学生から中学生 定員: 15名程度
(高校生はボランティアとして参加できます)

受賞作家と交流しながら「汗かくメディア受賞作品公開展示」を体験するツアーのあと、3Dカメラやちょっと使ったことのないデジタルカメラを利用してセンターの中の「おもしろい」を見つけるあそびをします。

協力: 福山女学園大学文化情報学部メディア情報学科 講師: 宮下十有
申し込み方法: 電話またはメールで、参加者の氏名・学年・性別・郵便番号・住所・電話番号をお知らせください。
電話 0561-63-1110 メールアドレス accc@acc-aichi.org

詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。

愛知県児童総合センター



〒480-1342
愛知県長久手市茨ヶ廻間乙1533-1
TEL 0561-63-1110
E-mail info@acc-aichi.org
http://www.acc-aichi.org/

開館時間 = 9:00 - 17:00
入場料 = 中学生以下無料、その他300円

9月の休館日 = 2、9、17、24、30日
10月の休館日 = 7、15、21、28日
11月の休館日 = 5、11、18、25日

公共交通機関で...

地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から
リニモ「愛・地球博記念公園」駅下車

車で...

東名高速・日進JCT経由名古屋瀬戸道路長久手ICから
足助方面すぐ(愛・地球博記念公園 北駐車場利用)



アートと遊びと子どもをつなぐ
メディアプログラム

汗かくメディア2013

受賞作品公開展示

2013.9.14(土) - 9.29(日)

愛知県児童総合センター(愛・地球博記念公園内)

公開時間: 10:00 - 16:00 休館日: 9.17(火)、24(火)

入場料: 中学生以下無料、その他300円

主催: 愛知県児童総合センター
(公益財団法人愛知公園協会)

愛知県児童総合センターは開館以来、子どもたちに常に新鮮な驚きと発見のある遊びを提供するために、様々な「素材」「人」「不思議」と出会い、交流することができるような仕掛けづくりのほか新しい遊具や遊びプログラムの開発にも取り組んでいます。その一環として、2012年12月20日から2013年2月28日まで「アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム2013」と題し、子どもたちをより一層活性化し、新しいコミュニケーションの可能性を広げるメディアに関する遊びの提案を広く全国に公募しました。全国から寄せられた23作品を審査し、3作品が「アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム2013・汗かくメディア賞」として選ばれ、このたび受賞作品公開展示として愛知県児童総合センターで発表します。子どもたちだけでなく、大人も一緒になって幅広くたくさんの人々が体験する「新しいあそび」が実現します。

子どもとおとな、ドキドキ発見!

ACC

Aichi Children's Center

レター

News Letter vol. 13
2013 秋

汗かくメディア 2013

受賞作品公開展示

第3回 元気スイッチ on!!
あつまれ! あいちのじどうかん
土とハンティングワード
子育てのおはなし 第13話

ACCのぞき穴
募集とお知らせ

第3回 元気スイッチ on!!

あつまれ! あいちのじどうかん

開催日 / 2013.11.4 (月・振休)
会場 / 愛知県児童総合センター 南芝生ひろば



愛知県内には約300の児童館があり、児童館・児童クラブ職員は、毎日子どもたちや子育てをしているお母さん、お父さんたちとかわっています。昨年は愛知県で全国児童館・児童クラブあいち大会が開催され、全国から1,000人を越える児童館・児童クラブ関係者が集まり、子どもにかかわるプロとして、議論したり、情報交換をしたりしながらスキルアップのため学び合いました。今年はその成果を引き継ぐ形で、児童館・児童クラブが子どもたちにとってより良い育ちの場になるよう集まりたいと思います。また、関係職員だけではなく、親子のみなさんもさまざまな遊びを体験できる「あそびば」がオープンします。ご家族でぜひ、参加してください。



親子のみなさん

出前じどうかん —あそびば—

時間 / 10:30 ~ 16:00
さわやかな秋空の下、モリコロパークに家族で楽しむことができます。「出前じどうかん —あそびば—」がオープンします。県内各地の児童館・児童クラブ職員がイチャオンしている遊びが大集合。身近な材料を使っておもちゃを作ったり、親子でゲームに参加したり、ステージパフォーマンスを楽しんだりすることができます。

児童館・児童クラブ職員

「記念講演」と「スイッチカフェ」を開催します。昨年の全国大会の成果をさらに深めるための「記念講演」と、リラックスした雰囲気の中でテーブルを囲んでディスカッションをおこなう「スイッチカフェ」を開催します。自分の所属での活動だけでなく、さまざまな地域で活動している仲間たちと情報交換をして、活動の幅を広く深くしませんか。※内容は調整中です。最新情報は下記の公式サイト等でご案内します。

● 記念講演 ● スイッチカフェ —かたりば—
時間 / 10:30 ~ 11:30 時間 / 13:30 ~ 15:45

【問合せ】
元気スイッチ on!!
あつまれ! あいちのじどうかん実行委員会 事務局
〒480-1101
長久手市茨ヶ廻間乙 愛・地球博記念公園
愛知県児童総合センター内
Tel: 0561-63-1110 Mail: switch-on@acc-aichi.org
公式サイト: <http://www.acc-aichi.org/2012blog/>

検索 Q 元気スイッチ on!!



特集 土のあそびとハンティングワード

愛知県児童総合センターの中でもとくに人気があって、特別企画のあそびをしていないときの定例プログラムとして行なっている「土のあそび」と「ハンティングワード」について紹介します。

土のあそび

センターでは、身近にあって私たちの暮らしになくてはならない「土」にずっと注目してきました。粉状の土、水分を含んだ土、乾いて固まった土など、その多様な状態を楽しむように、テーマを決めてプログラムを考えています。柔らかい土の感触を楽しむためのあそびや、土そのものの色に気づくあそび、水を混ぜて粘土にしたり、土をひたすら掘ってみたり、泥状にして塗ってみたり。いろいろなプログラムがありますが、どれも個人制作に終始するのではなく、一人一人がつくったものが集まって大きな空間をつくり出す「集団遊び」として成り立っているところにセンターの特徴があります。土を触ると、子どもも大人も「わっ!」と驚き「気持ちいい!」「すごい!」と笑顔になっていきます。土は私たちの五感に直接働きかけ、夢中にさせ、日常の縛りから解放し、直感的に遊ぶことを刺激する、そんな魅力を持っています。



砂、泥、粘土、固まった状態、いろいろな状態の土のプログラム。



穴を掘ったり、粘土にのぼったり...あそびの幅は広がる。

子どもも大人も一緒に楽しむ。

ハンティングワード

「ハンティングワード」はレベルごとに違う色の印がついた文字が館内に隠されていて、地図のヒントを頼りに探し出し、見つけた文字を並び替えて言葉をつくるあそびです。言葉があっているとレベルがアップしていきます。センターを探索しながら、様々な場所(例えば、階段の下、壁の裏のちょっとした隙間、高い天井、草むらのかげなど)にも気がつきます。「発見する楽しさ」を知る、そんなあそびは、センターでのあそびの可能性を広げていきます。とてもシンプルですが、見つけ出したり、並び替えたりするのは意外と難しく、子どもだけでなくいつの間にか大人が必死になって探していたり、一緒に頭を悩ませたりと、みんなが同じように夢中になって遊ぶことができるあそびです。



ハンティングワードのカード。レベル1から4まである。

「難しかった?」「ちょっとだけね」ゴールでスタッフと楽しそうに話す。



どうしてもわからないとスタッフに助けを求めると、見つけると「やった!」と全身で喜ぶ。

外にも隠されている。大人も一緒にみんなで協力して探す。

PICK UP あそびワンダーブック



愛知県児童総合センターにとって、あそびの開発だけではなくあそびを広く地域へ普及することも大切な役割です。「あそびワンダーブック」は地域のあそびを活性化するための発行しているあそびのヒントになるような冊子です。センターで実践してきた、たくさんのお母さんのあそびのプログラムの中から、特に紹介したいプログラム

を選んで構成しています。遊ぶときのポイントやプログラムに込めた思い、ねらいなども紹介しています。各地域の現場にあわせて形を柔軟に変えて、それぞれの現場で新しいあそびを生み出す力の一つとなれることを願っています。〇バックナンバーはホームページ (<http://www.acc-aichi.org>) でご覧いただけます。

【あそびワンダーブック】発行年
1999年 あそびワンダーブック1「あつまる・あそび」
2000年 あそびワンダーブック2「つくる・あそび」
2001年 あそびワンダーブック3「たべる・あそび」
2003年 あそびワンダーブック「遊びの宝箱」
2010年 あそびワンダーブック2010
2011年 あそびワンダーブック2011
2012年 あそびワンダーブック2012
2013年 あそびワンダーブック2013

子育てのおはなし

臨床心理士 後藤かをり

第13話

「託児」と 小さい子どもたちの 「覚悟」

先日、あるお母さん方の集まりで、お母さんと子どもが分かれる場面がありました。2歳になったばかり。少し前に別の場所で初めての「託児」を経験して大泣きをし、お母さん曰く「トラウマなんです」。

事前にその情報をキャッチしていたスタッフは、対応の方針を話し合ってお母さんを迎えました。

はたして彼女はとて警戒的。表情はこわばり、お母さんにつづいています。幸いお母さんは時間に余裕を持ってきてくださったので、まずはしばらくみんなで遊び、知らないおばさんたちとおもちゃのやり取りをしたり。そして、時間が来てお母さんとのバイバイの時間、お母さんは彼女を抱っこして「ママ、お勉強してくるね、終わったらお迎えに来るからいっぱい遊んで待ってね」。そして、保育士さんに抱っこしてもらって泣きましたがお母さんには振り返らず出てもらいました。

お母さんはお母さんグループでたくさん話し、彼女は少し泣いてから保育士さんの「いっぱい遊んで待ってるよママくるよ」の働きかけに遊び始め、途中2回ほど「マ

マ」と言いながら、1時間半後、お母さんがお迎えの時には、ドアの外からキョキキョキと笑い声が聞こえました。お母さんとの再会、両者駆け寄り抱き合い、彼女はアーンと泣きました。すぐに笑顔で遊んだことを見せられ、スタッフにバイバイをして帰っていききました。

仕事で、病気で、何かの用事で、お母さんの休養のため...、子どもとの一時の別れが必要な時があります。親も子どももその時は辛い気持ちかもしれませんが、辛さを超えてよい体験に、成長の糧にするように心がけたいと思います。大切なことは、子どもの不安をわかってあげること、子どもに心をつくして「待ってね」「お迎えに来るよ」と話すこと、話したらお母さんがあっさり別れられるように周りがお手伝いすること、お母さんとスタッフが信頼し合っていること、再会をきちんと喜び合うこと...だと思います。

子どもは、周囲が落ち着いて誠実に対処すれば案外きちんと「覚悟」を決めてくれるものだと思えます。こういう一つ一つが親と子の成長につながっていくでしょう。



約40冊の絵本が並び「えほんのへや」。絵本はセンターの企画ごとに変わります。ペランダにはランタナやローズマリーなどハーブが元気に育っています。日によって開くこともある「あそびステーション」へとつながるシーズルトンネル。この日は子どもたちの秘密基地のようでした。そんなゆったりした部屋を訪れて、初めて家の外で絵本を読んだという慧悟くん。絵本やブックスタンドを手にとって眺めをきらきらさせていました。

「はらへこあむし」がお気に入り
佐藤強明さん、さや香さん、慧悟くん(三歳半)

募集と お知らせ

移動児童館・ゆめたま号 9月~12月の開催地決定

愛知県児童総合センターの遊びを「ゆめたま号」に乗せて県内各地へ運び、現地のスタッフも加わって地域の子どもと大人と一緒に遊べるプログラムです。遊びをとおした、たくさんのお母さんにも楽しみにしています。

【開催地】 ※参加につきましては、各施設へお問い合わせください。
9/7(土) 大山市 / 桑田児童センター
9/25(水) 蟹江町 / 蟹江児童館
10/5(土) 半田市 / 乙川交流センターニコバル
10/9(木) 岩倉市 / 第四児童館
10/22(火) 豊川市 / はちなん児童館
11/6(水) 津島市 / 津島市生涯学習センター
11/21(木) 尾張旭市 / 浅川児童館
11/30(土) 知多市 / 知多市児童センター
12/25(水) 愛西市 / 愛西児童老人ふれあい館

※プログラムは予告なく変更することがありますので、詳しくはHPをご確認ください。

リノモたんけん隊

リノモの乗車およびリノモの車両基地の見学を行い、リノモのおもしろさや魅力を再発見します。車両基地では、目の前のリノモの大きさや形、走る仕組みなどを直に見て感じることができます。

【当日は、センタースタッフが同行します。リノモ車両基地では愛知高速交通(株)の方に案内やお話を聞き見学します】
日時: 10/5(土) 14:00~16:00(2時間程度)
対象: 5歳以上(必ず保護者と一緒に参加してください)、先着40人
申込: 電話 0561-63-1110にて申込み(定員になり次第受付終了)
費用: 交通費(リノモ乗車運賃: 大人320円、子ども160円)と愛知県児童総合センター入場料(中学生以下無料、その他300円)が必要です。
協力: 愛知高速交通(株)

あいちトリエンナーレ2013共催事業 キッズトリエンナーレ「せんのとりで」

あいちトリエンナーレ2013キッズトリエンナーレに、愛知県児童総合センターが登場します。部屋の中のいろいろな場所を線(ひも)でつないでいき、線で埋めつくされた不思議な空間をつくり出します。

【問合せ】
愛知県児童総合センター
tel 0561-63-1110
<http://www.acc-aichi.org/>